

訓練時間が長い！

訓練時間が長過ぎ！長時間勤務、猛暑で疲労がたまる
中での訓練が長過ぎて集中力が続かない！

猛暑が連日続く中で、乗務員は大変疲労しています。こうした状況の中で訓練時間が長過ぎると思いませんか？会社としては、カリキュラムにそって行っているのですが、その時々状況により変えていく必要があるのではないのでしょうか。人は長い時間集中が続くものではありません。また、訓練までの待ち時間も長く、サービス労働が多く、社員に負担をかけ過ぎています。

運転士の車掌業務が多すぎる！

運転士の安全が脅かされる！

運転士の車掌行路充当が多すぎませんか？3ヶ月間まるまる車掌業務が続くこともあり、運転士が運転士交番以外に運転業務ができないことがあります。また、予備交番で運転士がたまにしか運転業務につくことができず、安全上問題ではないのでしょうか？運転士業務の軽視ではないのでしょうか。しかも運転士は、体調管理が車掌から運転士モードに切り替えることが、非常に難しく不安を感じています。運転士が、長い間ハンドルを持たないで乗務につくことは安全上危険であり問題です。車両故障、応急処置などの正確、迅速な対応が必要とされているなかで、長期間の車掌業務から運転士モードの切り替に安全上問題として『警告』します。

事故対策と称した膨大な喚呼に **NO!**

事故が連続して起きているのも、体調管理の難しさや長時間乗務における集中力の欠如など人が起こすヒューマンエラーが必ずあるからです。それに対して、ミスをしたとして責任追及、基本動作と称して膨大な喚呼を行わせ、対策とする指導の考えに問題があります。喚呼が多すぎるにより注意する点が多すぎてしまい、肝心なことが散漫になり注意点がぼやけてしまっています。事故やミスは無くならないのは、過去の事事例を見てもわかることです。いまの会社の責任追及体質では、膨大な喚呼や長期間の日勤を増やし続けても解決にはなりません。逆に減らしてポイントを明確にした方がいいのではないのでしょうか。膨大な喚呼を、責任を持って減らそうと考える責任ある判断ができる管理者の方が現れるのを期待します！